

新型 MT-55L 型タンピングランマ

登場

作業性、メンテナンス性が大幅に向上!

ご好評を頂いております三笠のベストセラーMT-55A型タンピングランマーが、装いも新たにMT-55L型として生まれ変わりました。

MT-55A型で定評を頂いております操作性の良さを更に向上させ、作業現場を熟知した三笠産業ならではの新しい機能を盛り込み作業性、メンテナンス性が大幅に向上しました。

リコイルガード装備

搭載するエンジンは、強化型マフラーを装備し、米国EPA排出ガス規制、日本陸用内燃機関協会の排出ガス自主規制に適合した、排気ガスの臭いや煙の少ない、音の静かな環境に優しいエンジンです。

エンジンの両サイドは、リンク類やオイルゲージ等のエンジン補機類の破損を防止する為の大型カバーでガードし、後方は新たにリコイルスターターを保護する軽量樹脂製カバーを標準装備しました。このリコイルカバーにより、トラックへの積込みや溝輾圧作業を行う場合など、機体の上げ下ろし時にリコイルスターターが損傷するのを防ぎます。

エンジンカバー装備

ハンドルには新設計のエンジンカバーを標準装備しました。このカバーは、溝輾圧時に降りかかる土砂や本体吊り上げ時エンジンにフックをぶつける等のトラブルを低減させると共に、屋外に機体が放置された場合に雨水あるいは直射日光から、エンジンを守ります。また燃料補給時に、溢れたガソリンが仕様

型 式		MT-55L
機体寸法	全 長	685mm
	全 幅	350mm
	全 高	1025mm
衝撃板の寸法 幅×長さ		265mm × 340mm
装備重量		62kg
衝撃板のストローク		30~70mm
衝撃数		645~695min ⁻¹ (毎分)
打撃力		7.4~9.8kN (750~1000kgf)
燃料タンク容量		2ℓ
エンジン	型 式	ロビンEH09 4サイクルガソリンエンジン
	最高出力	1.8kW/min ⁻¹ (2.4PS/r.p.m.)
	燃 料	無鉛レギュラーガソリン
	潤滑油	自動車用エンジンオイルSE級以上



エンジンに掛かるのも防止します。

タコ・アワーメーター装備

エンジンカバーには、タコ・アワーメーターを標準装備しました。このタコ・アワーメーターはエンジン停止時にはアワーメーターとして総使用時間を常時表示するので、定期的な点検、整備を行うのに必要な時間が的確に把握出来ます。また運転時はタコメーターとして動作するので、適正なエンジン回転数を確認しながら作業が行えます。

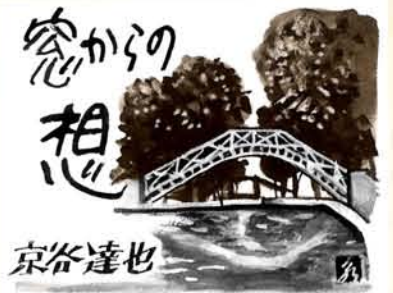
耐久性向上フート装備

三笠独自の輾圧安定理論に基づいて設計された専用フートに、純正である事を示すmikasaロゴを加えました。フート及びメタルシートの剛性を高め、耐久性を向上させました。また、三笠特許の底面形状にプレス一体成型をしていますので、固く締めあがった路盤でも安定した作業が行えます。更にフートを作る木材にも、環境保護に考慮

した木材資源の循環に対応しております。三笠純正フートは機体の耐久性能と軽量ながら十分な輾圧力を両立させる為、機体重量計算により設計され、厳格な品質管理の下に製造しておりますので、ランマーを長期間お使い頂く為に、三笠純正フートのご使用をお願い致します。

マン・マシンインターフェース (人と機械の接点) の向上

人に優しい機械づくりを目指す三笠では作業者と機械の接点であるハンドルも大幅な見直しを行い、手許振動を大幅に低減 (従来比3~4割減) してオペレーターの負担を大幅に低減しました。外観も従来と大きく変わったハンドルは、作業時の運動解析を基に三笠独自の防振理論により設計されており、運転時の適正なバランスを保つ特殊な内部構造とすることで作業時の手許振動を低減しています。



映画館で映画を見なくなって久しい。ロードショーの広告にも自然に関心が薄くなっている。しかし今秋は久しぶりに目が吸い寄せられた。仏・チェコ・英の合作。愛を生きた世界の歌姫、涙と喝采の物語という月並みな引き文句ながら『エディット・ピアフ 愛の賛歌』という題名だったからだ。ところが原題を見ると「LA VIE EN ROSE」とある。勿論ピアフの代表的なヒット曲「バラ色の人生」だから異存はないが、どうやら客集めの見え透いた題名作が感じられて気分を害した。

シャンソンに特定の形式やリズムがあるわけではない。フランス語で歌う歌はすべて「シャンソン」であると教えられた。昭和20年代後半から30年代にかけて私も人並みに、いや熱烈なシャンソンファンになっていた。もの憂い哀愁に沈んで酔ってみたい、野放図な陽気さに心躍らせたりしたものだ。イヴ・モンタンやジュリエット・グレコ、そして『愛の賛歌』のピアフなどなど。

だが何時しか潮が引けるようにシャンソンの人気は失われていった。それから幾年が過ぎたことだろう。あのころ私は郷愁のように独りでシャンソンと中原中也の詩を愉しんでいたことを思い出す。日本でシャンソンに相応しい詩をかけたのは中原中也だけだと独断したのだった。「在りし日の歌」の「あんまり晴れてる秋の空／赤いトンボが飛んでいる／淡い夕日を浴びながら／僕は野原に立っている…」や「一つのメルヘン」など、シャンソンにして聞きたいと思ったものだ。今秋全国ロードショーというピアフの映画で、シャンソン人気の復活は望めないにしても、オールドファンには様々な回想を呼ぶことだろう。

このように、新たな機構・装備を盛り込み、優れた機体の安定性と強い輾圧力を両立させ、操作性、保守管理性を向上させましたMT-55L型ランマーを、従来のランマーと同様に御愛用頂きますよう、お願い申し上げます。

第22回北海道三笠会 定時総会開催



挨拶する皆良田会長

去る7月26日（木）、27（金）の二日間、登別温泉「まほろば」において、第22回北海道三笠会総会が開催されました。

清々しい晴天の中、定時総会に先立って行われた新製品・主力製品説明会においては、最新技術を惜しみなく導入し開発された新型ランマーMTXシリーズ、これからのトレンドとなることが期待される舗装面取り機MCV-727などの製品について実演を交えて紹介させていただき、熱心な意見交換が交わされました。今後、これらの製品の現場での活躍が大いに期待されるものと感じています。

会場を移して行われた定時総会では、皆良田会長（ナラサキリース株式会社代表取締役社長）から「我々の業界としては、依然厳しい環境下に置かれています。先日、談合の問題から発生したダンピング受注に公正取引委員会から警告が発せられ、道内では低入札による保留審議が相次ぐなど、不公正取引に対する取締りが強化されることとなりました。こういった動きは、我々にとっては明るい材料になるのではと思います。昨年は大阪三笠会、九州三笠会が設立され、北海道、東北、東京と合わせると、三笠会は全国で会員数300余名という会になることとなりました。近い将来、全国合同総会を北海道で開催し、300余名の会員をお招きできれば、と考えております。本日お集まりの会員各社の今後のご発展とご健勝をお祈り申し上げます」とのご挨拶を頂き、続いて弊社、京谷社長が「三笠産業の売上としては好調な輸出に支えられ順調と見えますが、海外での内容も、アメリカ一辺倒からは変化をしており、現在は、東欧・BRICs諸国などの市場でアメリカの落ち込みをカバーしている状況です。また国内の事業戦略としては、三笠会の充実・発展による営業力の強化及び新製品投入による市場競争力の強化の2点を柱と考えており、プロに認められる高品質機械としての商品開発を進めていきます。また、我々は今年も、三笠ファンを増やそう、という活動を続けていきます。会員の皆様には、モノを言う三笠ファンとなっただけで、長期的な信頼関係、共に発展していける関係作りをお願いしたいと思っております」と挨拶を申し上げます。議事はスムーズに進行し、会員向け特別セールの案内などの後、弊社、清水常務の閉会の辞で

総会は滞りなく終了いたしました。

まほろば自慢の温泉で汗を流して頂いた後、富山副会長（日本建機サービス販売株式会社 取締役会長）の乾杯の御発声で、お楽しみ会の懇親会はにぎやかにスタート、会員相互の親睦を深める会話の花が咲き、途中、ビンゴゲーム大会などのアトラクションで大いに盛り上がり、あっという間の二時間は、伊藤顧問（北海産業株式会社 代表取締役会長）の中締めでお開きとなりましたが、これで終わっちゃもったいない！更に場所を移しての二次会では、ご当地北海道出身、松山千春（？）まで出現し「大空と大地の中で」「長い夜」は続いていったのでした。

二日続きの晴天となった翌日、樽前カントリークラブで開催された親睦ゴルフ大会においては、気持ちのよい絶好のコンディションの中、熱戦が繰り広げられ、勝浦聖次様（カツウラ建機株式会社 代表取締役）が、グロス78！の圧倒的な強さで、ベスグロ優勝を飾り、見事3連覇を達成されました。

会員皆様の多大なるご協力の下、第22回北海道三笠会総会を無事に終了できましたことに心より感謝を申し上げます。

札幌営業所 越後記

第23回東北三笠会 定時総会開催



挨拶する福田会長

第23回東北三笠会定期総会は8月8日（水）、9日（木）の二日間に亘り、青森県は五所川原市のホテルサンルートに於いて開催されました。今回は東北の夏を代表する祭りのひとつである立ちねぶたの見物を企画に盛り込んだためか、遠方での開催にもかかわらず新会員様を含め多数の会員様にご参集頂きました。

総会では、まず福田会長（幸和リース株式会社 代表取締役）より「青森県五所川原という遠方にもかかわらず多数ご出席頂き誠にありがとうございます。更に会員相互の親睦をはかり創意工夫し、助け合いながら進んでいきたいと思っています」と挨拶がありました。続いて弊社京谷社長より「今回で23回を数える東北三笠会の歴史の中で初めての試みとなる夏祭りでの企画であります。今後ともこのような新しい企画でのぞんでいくと共に三笠会をますます充実させることにより皆様と共に発展していきたいと思っております」とご挨拶申し上げます。続いて今回の開催にあたり事前の準備に多大なるご協力を頂きました地元五所川原市の長谷川副会長（大成産業株式会社

代表取締役社長）より五所川原の立ちねぶたの歴史、見どころなどご説明頂き会員様の心は立ちねぶたで一杯のようでした。

議案の承認、新会員様の紹介などスムーズな進行で総会は終了。引き続き開催された、製品説明会では新製品であるMTXシリーズのランマーや、すでに販売し高い評価を得ていますMT-72SGKの軽量型MT-55SGK防音型をご紹介し、防音対策や振動対策など付加価値を高めた製品に高い評価を頂くことができました。

夕食のあとはいよいよ本日のメインイベントである立ちねぶたの見物です。栈敷席にご案内した頃に降っていた雨も上がり、いよいよ立ちねぶた出陣。その前にサプライズでご当地、五所川原出身の演歌歌手、吉幾三さんが我々の栈敷席の目の前で「やってまれ～やってまれ～」と熱唱。その後次々と運行して来る立ちねぶたの勇壮かつ雄大さに皆様感動されたようでした。

興奮冷めやらぬまま会場を懇親会場に移し、中野社長（山中産業株式会社代表取締役社長）の乾杯の御発声で始まり途中ビンゴ大会を交え楽しく歓談して頂きました。脇田社長（株式会社ワキタ代表取締役）の中締めをもって懇親会は終了となりました。

明けて、翌日会員皆様の願いも空しく降り続く雨の中親睦ゴルフコンペが青森カントリークラブで開催されました。悪天候を吹き飛ばすような白熱したプレーが展開され、優勝カップは大淵社長（株式会社協和機工代表取締役）が見事に手中に収められました。

今回の三笠会開催にあたり多大なるご協力を頂きました関係各社様に感謝申し上げますと共に、会員様には会の運営にあたり多大なるご協力を頂き誠にありがとうございます。

仙台営業所 高松記

第24回東京三笠会 定時総会開催



9月11日（火）、12日（水）の二日間、東京三笠会の総会が、群馬県安中市にある「舌切雀のお宿」で有名なホテル磯部ガーデンにて開催されました。会場となった磯部ガーデンは台風9号の余韻を残し、雨の降りしきる中でのスタートでしたが、約80名のお客様にご出席して頂きました。

製品発表会では、ランマー、プレート、パイプレーター等、三笠のメイン商品を一同に展示し、今回の新製品としてはMT-55Lランマー、MTXランマーシリーズが紹介されました。エン

ジン回転数と通算の運転時間が把握できるタコアワーメーターを装備し、また手許振動を大幅に低減する防振ハンドルを搭載した両機種はお客様の注目を集め、実演を交えながら意見交換が交わされました。また昨年からの新たな市場のニーズに対応すべく三笠の製品群に名を連ねた舗装面取り機MCV-727も注目を集めていました。

製品発表会が終わり、ホテル内のコンベンションホールに場所を移し、定時総会が開催されました。はじめに東京三笠会小野寺会長（株式会社宇建 代



挨拶する小野寺会長

表取締役社長）より「企業の格差が広がる中で我々は日々密着して営業活動していくことを大事にし、厳しいながらも皆さんと共に頑張ってきております。しかしながら景気が上向いてる実感がわからないのが本音かと思われまます。そのような状況においてもやり方を工夫することによって現況を打開する手だてがあると信じ、お互い夢と希望を持って頑張っていきましょう」とご挨拶いただきました。続いて弊社、京谷社長が「絶対的な市場規模の縮小は避けられないながらも、今後の展開として現行製品の改良、新製品の投入による商品競争力強化、そして扱い商品のレンジの拡大を図ることで、会員皆様方との繋がりを生かしていければと思っております。さらには皆様方には、今後海外製品等の輸入窓口としての三笠産業の御利用を是非ともお願いしたい所存です」と挨拶を申し上げます。滞りなく議事も進行し、会員様向けの特典や販促キャンペーン等、耳寄りな情報もお伝えして総会は終了しました。

磯部温泉のお湯を堪能した後は、高屋副会長（コーエイ株式会社 代表取締役社長）の乾杯の御発声で懇親会が始まり、ホテル自慢のお料理に舌鼓を打ち、美酒を堪能しながら和やかな雰囲気の時が進みました。ビンゴゲーム等で盛り上がり、歓喜と熱気に包まれた宴は二次会以降も果てることなく続きました。

翌日は、観光する方とゴルフ大会参加者に分かれての予定でしたが、昨日からの雨が一向にやまず、ゴルフ大会は残念ながら中止となりました。観光は、高崎市の少林山だるま寺見学や、世界遺産登録の呼び声高い富岡製糸場をご覧頂きました。

東京三笠会はお蔭様で24年目を迎えることが出来ました。会員の皆様方のご協力に感謝申し上げますとともに更なるご支援とお力添えをお願い申し上げます。

総務課 鉄農記

ホワイトマンパワートロウエル がモデルチェンジ

三笠産業が日本での代理店として独占販売をしている、米国MQホワイトマン社製のパワートロウエルがこの度モデルチェンジをし、ますますその機能を充実して登場した。

今回日本市場に投入されるのはホワイトマン社シングルトロウエルのラインナップの中ではミドルレンジに属する、作業径30インチ（約760mm）のMシリーズと、同じく36インチ（約910mm）のJシリーズで、主な改良点は次の通りである。

点検用パネルを装備

ガードリング前部に新たに点検用パネルを

ネルが装備された。このパネルをあければブレードの交換やトランスミッションのオイル交換が楽に行えるのでメンテナンス性が大幅に向上した。

ガードリングの強度を向上

一番外側のガードリングの前部を無垢の鉄棒に変更したことにより、作業時や運搬時に壁や他のものに接触しても変形することが少なくなった。

重量バランスの最適化

点検用パネルとガードリングの材質変更は、機体重量バランスの最適化にも寄与し、操作性が大幅に向上した。

リフティングフックを装備

トラックへの積み込みや現場への搬

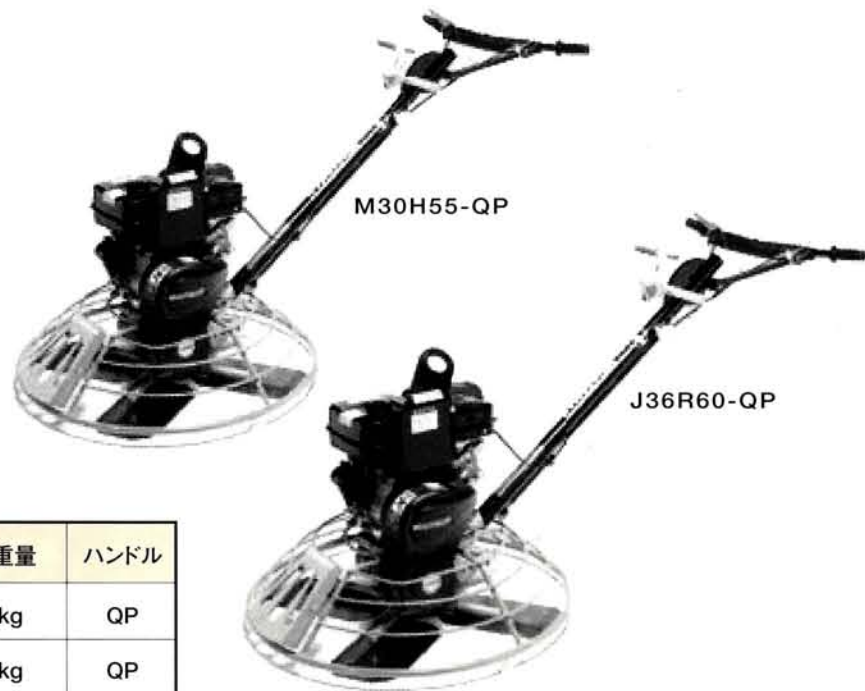
入に便利なりフティングフックを標準装備とした。

MQホワイトマン社はパワートロウエルの製造に60年以上の歴史があり、卓越した技術と経験から生み出されるマシンはその品質と信頼性が世界中で圧倒的な支持を得ている。

特に人間工学に基づいて設計されたハンドルはすばやく正確な操作を可能にするとともにオペレーターの疲労を大幅に軽減している。また、特許のク

イックピッチ（QP）ハンドルはわずかな力ですばやくブレードの角度を変えられるので、コンクリート面の状況にすばやく対応できる。

なお、三笠産業ではシングルトロウエルのほかに乗って作業の出来る搭乗型のパワートロウエルも大小6機種を用意している。コンクリートの床面仕上げには是非ホワイトマンパワートロウエルをご使用下さい。



型式	ブレードの種類	作業径 (ブレード回転)	ブレード回転数	エンジン	装備重量	ハンドル
M30H55-QP	Mコンボ×4枚	760mm	60～130(毎分)	ホンダGX160	143kg	QP
J36R60-QP	Jコンボ×4枚	910mm	60～115(毎分)	ロビンEX17	148kg	QP

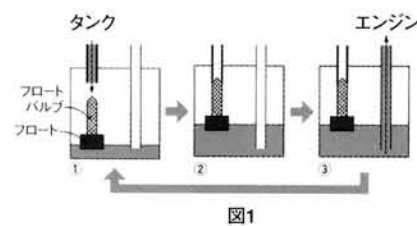
技術教室



MTXランマーはキャブレターがダイヤフラム式ですが今までのものとどこが違うのですか？

キャブレターは気化器と呼ばれるエンジンに適切な量の燃料を霧状にして供給する為の装置ですが、代表的なものにMTシリーズに搭載しているフロート式とMTXシリーズで採用したダイヤフラム式があります。それぞれに特性がある為、通常は用途（例えばプレートにはフロート式、ハンドカッターにはダイヤフラム式など）に合わせて使い分けます。しかし、世界中で三笠のランマーだけが仕向け国の動向を考慮して、各国のニーズに合ったキャブレターでの提供を行っています。数年前までは殆どのランマーが使用感を

では、具体的にどのような違いがあるのか説明します。まずフロート式の供給方法ですが、キャブレター本体に大きなチャンバー室があり、その中に満たされた燃料の上に浮き（フロート）が浮いています。その浮きが上下する事でニードル弁を開閉させ、ガソリンの供給量を調節します。手順としては（図1参照）

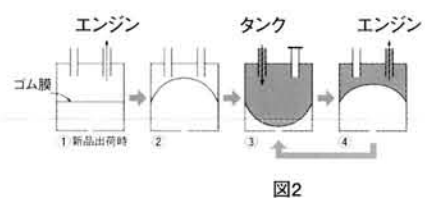


- ① 燃料タンクからガソリンが送られ、フロートチャンバー内の油面が上昇し、フロートが押し上げられます。
- ② 上昇したフロートはフロートバルブを押し上げ、燃料流入通路を閉鎖し燃料を流れなくします。
- ③ 燃料が消費され、フロートチャンバー内の油面が下る事によりフロートが下がり、フロートバルブが開きます。→①へ戻り繰り返す。

この方式は構成部品が少なく機構がシンプルなので、メンテナンスが容易。始動性が良い等の特徴を持っています。

次に、ダイヤフラム式の説明です。ダイヤフラム式とはゴム製の膜（ダイヤフラム）を内部に持ち、その膜がキャブレター内の圧力変動により伸縮し、ポンプのように燃料を吸い上げる方式です。手順を説明します（図2参照）。

- ① エンジンのピストンが上下する事により発生する負圧で、キャブレター内の圧力が下がります。



- ② 低下した圧力に追従してダイヤフラムが伸ばされます。
- ③ エンジンのバルブが閉じた時、伸びたダイヤフラムが大気開放面との圧力差で引き戻され、その吸引力を利用して燃料タンクからガソリンを吸上げます。
- ④ 膨らんだダイヤフラムが戻る力を利用してエンジンにガソリンを送り込みます。→③へ戻り繰り返す。

ダイヤフラム式は燃料系が閉となっている為、ガソリンが漏れる可能性が極めて少ない構造となっています。その為前述したように環境に配慮した方式と考えられています。

三笠製ランマーをより一層安全に使用して頂く為、それぞれのキャブレターの方式ごとにメンテナンス方法及び使用上の注意点をまとめましたのでご参照下さい。

フロートキャブレター (MTランマーシリーズ)

- ① 保管時及び運搬時にランマーを横倒しにする際は、必ずキャブレター側を上にして倒して下さい。その他の面を上にしたまま燃料がこぼれ出す恐れがあります。
- ② エンジン停止時は必ず燃料コックを閉じて下さい。機体の姿勢によっては燃料が漏れ出す恐れがあります。
- ③ ランマーを長期保管される時は必ず



キャブレターから燃料を抜いて下さい。ガソリンを入れたままにしますと、燃料の劣化によりキャブレター故障の原因になります。

ダイヤフラムキャブレター (MTXランマーシリーズ)

- ① キャブレターの構造が複雑で調節が難しいので燃料流量を調節しないで下さい。調節不良を起こし本来の性能が得られない場合があります。
- ② 内部構造部品が埃やゴミに対してデリケートな為、絶対に分解しないで下さい。
- ③ ガス欠まで運転しますとエンジンが掛かりにくい場合があります。燃料が無くなる前に給油して下さい。

最後に、三笠産業はお客様に最高の作業性能を提供する為、日々研究を重ねています。キャブレターを含め専用設計部品が可能にした弊社ランマーの操作性能を実感して頂き、今後とも御愛用下さい。



優先したフロート式でしたが、昨今欧州を初めとする先進国で環境と安全性に配慮した考え方からダイヤフラム式が好まれるようになってきています。

近所探検



なぞの物体の秘密

写真の物体は、本社から歩いて10秒のところにある。右の写真はこの物体が置いてある雑居ビル入り口部分である。物体はコンクリートでできており、かなり古いものだ。以前から、これが何であるのか分からず気になっていたのだが、ある日、このビルに入っている開業医の「白ひげ」先生^{※1}が、正体を教えてくれたのである。

「お前さんの会社と因縁の深いものじゃないか。知らなかったのかね。このビルのオーナーである設計事務所の持ち物らしいよ」

「というど?」

「丸山明宏だよ」

「え?」

「ヨイトマケ」

小学2年生の時に口ずさんでいた歌詞とメロディー。当時、故郷にまだあった炭坑住宅とボタ山の風景。20年後の渋谷・ライブ小屋の光景。このとき、一瞬にしてすべてがこの物体につながった。

父ちゃんのためなら エンヤコラ
母ちゃんのためなら エンヤコラ
もひとつおまけに エンヤコラ

ヨイトマケの唄は、昭和40年代初頭に丸山明宏（現在的美輪明宏）が歌ってヒットした。女手1つで自分を育てた亡き母を偲ぶという内容の歌で、ヨイ

トマケとは、まだ輦圧機械が普及していなかったころ、重しの槌や柱を滑車で上下する仕事のことや、その労働に従事する人^{※2}のことを指した。もとも



とは滑車で上げ下げするときや、綱を引き上げるときに言った「よいとまあけ」という掛け声からきているという。なぞの物体とは、つまりランマーの原型だったのである。

自分がこの歌を口ずさんでいた当時の地方都市U市は、海底炭田の町で小さなボタ山と古ぼけた炭坑住宅があったのをよく覚えている。炭坑自体が閉山となって、友達の転校や校区変更で、子供ながら寂しい想いをした頃、この曲をよく歌っていたのだ。といっても、当時は、エンヤコラの部分だけを繰り返し歌っていた。ヨイトマケを見たことはなかった。もちろん、歌詞と歌唱の凄さに驚くのはずっとあとのことである。高度成長期、いわゆる「いざなぎ景気」の時代であった。

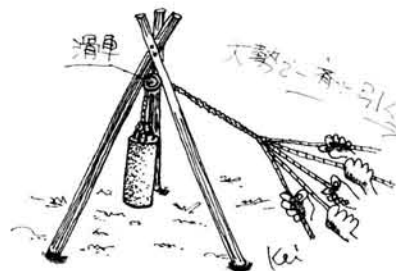
あれから20年の歳月を経て、渋谷の「ジャンジャン」という小劇場で、ヨイトマケに劇的な再会をすることになる。ジャンジャンは、70-80年代におけるカウンターカルチャーの発信地で、様々なジャンルの公演が企画されていた。覚えているだけでも、中村伸郎の「授業」（イヨネスコ）、別役実の不条理

芝居、津軽三味線の高橋竹山、伝説の歌手、浅川マキ。あがた森魚やダウンタウンギョウギバンドなども出演していた。そして、恒例のコンサート、「美輪明宏の世界」である。

渋谷公園通り、山手教会地下にあるジャンジャンは、100人も入れば満席になる小さな劇場であったが、惜しまれつつ2000年に閉店した。美輪明宏の「肉声」を体験したのは、80年代後半だったとおもう。美輪がステージの最後に「ヨイトマケの唄」をアカペラで歌い出したときの衝撃は今でも忘れることができない。壮絶な肉声に全身をわしづかみにされ、髪の毛が逆立ちするほどの鳥肌が立ったことを今でも覚えている。この人が歌っていたのか。

少年時代、威勢のよい掛け声の感覚で口ずさんでいた自分が恥ずかしかった。その歌唱法が、シャンソンのような役者的なのかは分からなかったが、深い感情の機微を、「エンヤコラ」という一節に込める凄さ。ひれ伏し、そして涙した。「ヨイトマケの唄」の歌詞を初めて認識したのもこの夜であった。

姉さんかぶりで 泥にまみれて
日にやけながら 汗を流して
男に混じって ツナを引き
天に向かって 声をあげて
力の限り 唄ってた



現在、雑居ビル前には物体は、おそらく今から40年以上前、ランマーの代わりにヨイトマケによってエンヤコラの掛け声とともに使われていたのだ

忍法猿楽流 三笠丸



あろう。既成のものではなく、当時、土木施工会社などで、工夫を重ねて作られていたのではないだろうか。このビルのオーナーが、どのような意味を込めてここに置いたのかはわからない。植木に隠れるようにして鎮座している姿は、現代の道祖神に見えなくもない。いや...、見えるわけないか。

今も聞こえる ヨイトマケの唄
今も聞こえる あの子守唄
父ちゃんのためなら エンヤコラ
子どものためなら エンヤコラ
(ふの字)

※1 赤ひげでなく、白ひげで仙人のようだからこう呼んでいる。

※2 唄がヒットした当時、歌詞にある「土方」という言葉が放送禁止用語になったが、現在では解禁されている。

三笠クイズ VOL.67

【問題】 タテとヨコのかぎを解いて1~5の文字をつなげると、秋にふさわしいことばが浮かんできます。さて何でしょう。



ヒント

ヨコのかぎ

ア. 通路の、まっすぐ先へは行けないところ。○○○○○を右へ曲がる。
イ. 東北楽天ゴールデンイーグルスの監督は○○○克也氏。
ウ. 日本では一億総中流社会が崩れ、○○組と負け組の二極化が発生しているといわれている。
エ. アルファベットの25番目の文字。
オ. 物事にこだわらず、のんきなさま。○○○人。
カ. この情報は○○○○○すべき筋からのものだ。

タテのかぎ

A. 結婚式の時花嫁が飾る頭飾り。
B. 朝鮮の漬物の総称。塩漬けにした野菜に、ニンニク唐辛子、塩辛などを合わせて漬け込んだもの。朝鮮漬け。
C. 人の欠点。○○を指す。
D. 忠臣蔵は江戸城中で浅野内膳頭が起る。○○上野介に刃傷に及んだのが事件の発端。
E. 酒に酔うと○○○上戸の人はいれば泣き上戸の人もあります。
F. 過去に制作された映画やテレビドラマ、テレビアニメ、コンピュータゲームなどを、新しく作り直すこと。

応募の方法 官製ハガキにクイズの答えと住所、氏名、年齢、職業(会社名)をお書きのうえご応募ください。正解者には抽選の上10名様に記念品を差し上げます。
●あて先 ① 101-0064 東京都千代田区猿楽町1-4-3 三笠産業株式会社 「三笠ニュース」編集室
●締切り 2007年11月20日(火)消印有効

VOL.66の答えは「サクランボ」でした。次の10名様に図書カードをお送りしました。北原雄一様(南佐久郡) 鈴木ゆき子様(旭川市) 長倉亜希子様(大里郡) 宮崎隆雄様(八戸市) 日矢川信子様(日田市) 村田三枝様(阿南市) 中尾笑子様(堺市) 堀江寿子様(座間市) 石田清子様(三条市) 佐々木英二様(駒ヶ根市)

氏名 矢上 太郎

入社 平成10年

出身地 福岡県

所属 三笠建設機械株式会社
九州営業部九州営業所



——日頃どんな仕事をしていますか？

九州営業部に福岡市内・佐賀県・長崎県の営業を担当しております。

——今最も関心を持っていることは何ですか？

自分は野球が大好きで小学校からずっと続けており、週末は草野球で汗を流す事が多いです。プロ野球ではソフトバンク戦をいつも楽しみにしています。今年こそはパリーグ制覇を願っておりましたが、残念でした。4年前まで大阪本社に所属しておりましたが、その時は阪神タイガースを応援していました。いつか日本シリーズでソフトバンクと阪神タイガースが対戦するのを楽しみにしています。

——お客様に一言どうぞ

今年で入社して10年目になりました。今まで多くの方に支えられてやってこれたと思っています。これからは自分が少しでも多くの人力になれるような人材になって行きたいと思っています。同時にお得意先から深く信頼される営業員を目指して、日々努力していきたいと思っています。

我ら・三笠・ピープルズ



氏名 岡部 勇

入社 平成18年

出身地 埼玉県

所属 三笠産業株式会社
営業サービス部サービス課

——日頃どんな仕事をしていますか？

6月からサービス課のフロント業務を担当しています。修理品の受注・見積り・売上げ、お客様からの問い合わせの対応、クレームデータの入力、他、展示会用具の管理なども行っています。

——今最も関心を持っていることは何ですか？

もう今年のピークは終わりに来ていますが、各地のお祭に参加してお神輿を担ぐことです。今は同好会に入って活動しています。5月の神田祭では本社のある猿楽町のお神輿を担がせてもらいました。楽しみは心躍るようなお祭独特の雰囲気と、終わった後の直会(飲み会)ですね。渡御中掛け声(大声)を出し、ストレス解消にもなり、地元の人と親睦を深められます。やっぱり祭りは見ているよりも参加するほうが楽しいですね。

——お客様に一言どうぞ

入社して1年半。まだまだ経験不足で、お客様にはご迷惑をお掛けしていますが、早く皆様のお役に立てるように日々努力しております。どうぞ宜しくお願いします。